

2025年1月15日

環境に配慮したバイオマスメラミン食器導入に関するお知らせ

株式会社松屋フーズ（本社：東京都武蔵野市、代表取締役社長：瓦葺一利）は、環境に配慮したバイオマスメラミン食器の導入を一部店舗より開始したことをお知らせいたします。

■バイオマスメラミン食器を導入するにあたって

このたび松屋フーズは、食と環境の両面で貢献するため新たな取り組みを始める運びとなりました。まず、松屋において生野菜のお皿に環境にやさしいバイオマスメラミン食器を順次導入していきます。少しでも地球環境の保全に貢献をするという目的のもとに始めるこの取り組みは、国内で出た「もみ殻」という資源を有効活用することにより、CO2排出の削減にも寄与し、森林資源の消費抑制や廃棄物の削減にもつながります。

松屋フーズは、SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを行っております。今回のバイオマスメラミン食器導入は、その一環として、私たちが環境に配慮した商品開発を進める姿勢を示すものであり、未来のために、おいしい食事を提供するだけでなく、地球環境への貢献を考えた取り組みを松屋フーズでは今後も続けてまいります。

※一部店舗より順次導入し 2025年12月末までには全店で導入予定です。

※松屋のバイオマスメラミン製食器は、一般社団法人日本有機資源協会からの認証を受けたバイオマスマーク商品であり、その環境への配慮度が証明されています。

■バイオバスメラミン食器とは

通常メラミン食器の成形材料に25～30%含まれている木材パルプの代わりに、農作物から出る非食用部（未利用バイオマス）の「もみ殻」を使用した、環境配慮型メラミン食器の導入です。




未来のためにできることは、たくさんある。

松屋は生野菜のお皿を、環境にやさしいバイオマスメラミン食器に順次変えていきます。

この食器は何で出来ているの？
通常のメラミン食器の成形材料に25～30%含まれている木材パルプの代わりに、農作物から出る非食用部（未利用バイオマス）の「もみ殻」を使用した、環境配慮型メラミン食器です。

どうして環境にやさしいの？
国内で出た「もみ殻」という資源を有効活用することにより、CO₂排出の削減に貢献。さらに、森林資源の消費抑制や、廃棄物の削減にもつながります。

松屋フーズはSDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを続けています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS